

「那珂川の環境を考える」 —ボートを通して那珂川をきれいにしよう

ボランティア 課外活動 地域交流

〔代表者〕 人文学部 4年 中村 あゆみ

連携先

水戸市民のみなさん、那珂川第一漁協、水戸市役所、re:mito

長谷川 尚子 (人文学部 1年)
原田 裕介 (工学部 1年)

顧問教員

豊田 淳 (農学部 准教授)

参加者

中村 あゆみ (人文学部 4年)
阿左見 拓也 (理学部 4年)
坂本 麻実 (人文学部 4年)
武藤 綾花 (人文学部 4年)
渡部 翔 (理学部 4年)
信田 有哉 (人文学部 3年)
神田 裕子 (人文学部 3年)
蜂須賀 成美 (教育学部 3年)
朝比奈 あかり (理学部 2年)
伊勢 智之 (人文学部 2年)
飯塚 友理奈 (理学部 2年)
上原 駿也 (理学部 2年)
小原 敏輝 (理学部 2年)
関川 雅大 (理学部 2年)
長島 世梨花 (理学部 2年)
與儀 大貴 (工学部 2年)
伊藤 和音 (理学部 1年)
大下 宏美 (理学部 1年)
大城 泰平 (人文学部 1年)
片岡 錬 (人文学部 1年)
竹山 茜 (工学部 1年)
篠崎 晴菜 (農学部 1年)
根本 龍一 (人文学部 1年)

プロジェクトの申請内容

1. プロジェクトの概要

私たち漕艇部が普段練習水域としている那珂川は、農作物や周辺住民の生活を支える重要な水源となっています。また、那珂川は鮎が生息し、秋には鮭が遡上するなど、多くの生物が川の恩恵を受けています。しかし、そんな豊かな景観とは裏腹に河川敷には様々なゴミが点在し、川の中にもペットボトルや自転車、洗濯機など大きなゴミまでもが存在します。これらは私たちの那珂川の美しい景観を損ねるだけでなく、大切な水源を汚し、水に住む生物の命を脅かします。

そこで、私たちのプロジェクトは、那珂川第一漁協さんと連携し、那珂川の河川環境の向上を図ります。具体的には、那珂川近隣の小中高生、近隣住民を対象に参加を募り、那珂川のゴミ拾いを実施します。河川敷を歩いてのゴミ拾い、そして初心者用の4人乗りボートに乗ってもらい、川を下りながら川の中のゴミの撤去作業を行います。ボートを通して、那珂川の豊かな面と環境が汚されている面の両方を知ってもらい、身近な那珂川についてみんなで考えるきっかけになればと思います。

2. 連携の方法・内容

那珂川第一漁協のみなさんとは、普段那珂川で活動する者同士として、那珂川の汚染状況を共同で調査します。また、漁協さんと那珂川近隣の小中高生や地域住民の方々にゴミ拾いへの参加を募ります。ボートにも乗ってもらうため安全面を考慮して、参加者には、全員スポーツ保険に加入してもらいます。河川敷のゴミ拾いと、実際にボートに乗って川を下りながらゴミを拾ってもらいます。

3. 実施計画

▼7月～8月

- ・近隣小中高を訪ねて、プロジェクト内容を説明し、協力を依頼する
- ・漁協さんと那珂川の環境調査

▼9月

- ・近隣小中高を訪ねて、参加者を募る
- ・物品の購入完了

▼10月下旬

- ・部員でボートの点検・試乗
- ・メインのゴミ拾いのプロジェクトの実行

▼11月上旬

- ・プロジェクトの成果をチラシにし、地域のスーパーなどの店頭で配り、今後の河川環境の向上を地域住民に呼び掛ける

4. 期待される効果

①那珂川の周辺・水質環境の向上

ゴミ拾いで那珂川の環境をきれいにし、ゴミ拾い実施後、地域住民に河川環境の向上を呼び掛けます。

②地域住民同士の交流

協力してゴミ拾いを行い、地域住民のみなで那珂川について考えます。

③スポーツに親しむ

ボートを通して体を動かし、みんなでスポーツに親しみます。

プロジェクトの実施概要

那珂川は豊かな水源を有し、私たちの生活にはなくてはならない存在である一方、河川敷や川の中には、心ない人によってゴミが捨てられている。このような那珂川の二つの面を、より多くの人に知ってもらい、もっと那珂川を身近に感じてもらうという主旨のもと本プロジェクトを実行する。

<活動内容>

- ・水戸市役所主催の那珂川クリーン活動の参加 (H22.7.11 於：那珂川河川敷)
…市民の方々と協力して那珂川周辺のゴミ拾い。
- ・まちづくり団体「re:mito」と水をテーマとするイベントへの参加 (H22.8.29 於：千波湖)
…水戸市のもう一つの水源、千波湖で水をテーマにしたイベントで市民と交流。当部はボートの上で、救護にあたる。
- ・ボート教室の開催 (H22.11.14 於：茨城大学漕艇部艇庫・那珂川)
…部員と参加者は那珂川周辺のゴミ拾いをし、その後ボートに実際に試乗して那珂川に触れてもらう。主旨に挙げた那珂川の二つの顔を知ってもらうのが狙いである。

プロジェクトの成果報告

水戸市のクリーン活動や千波湖の水をテーマにしたイベント「千波湖 MIZU まつり」には、市民の方と那珂川や千波湖を通して交流することと、私たちの那珂川での活動

を知ってもらうことを目的として参加した。市民の方と会話しながらゴミを拾ったり、イベントの一役として救護活動に携わったりした。参加してみて、市民の方々は水戸市の主な二つの水源、那珂川・千波湖にとっても関心が高く、水に関するイベントに対して積極的に参加している人が多いことが分かった。

私たちが本プロジェクトで、最も重点を置いたのは「ボート教室」である。このイベントは、那珂川の豊かな水源を有する面と、心ない人によってゴミが捨てられ汚染されている面との二つの那珂川の顔を、より多くの人に知ってもらい、もっと那珂川を身近に感じてもらおうという主旨のもと開催した。対象は水戸市内の高校生とし、このイベントを機に、普段何気なく接している那珂川について再考してもらおうというのが狙いであった。ゴミを拾って、ボートに試乗して那珂川と存分に触れ合える一日となるように工夫した。イベントは好評をいただき、特にボートの試乗は参加者にとって貴重な体験となり、ボートから眺める水戸市の風景は新鮮だったようだ。参加

者には、那珂川のことを以前より理解していただけたと思う。

今回は当部にとってプロジェクト初年ということで、イベントは小さなものに留まり、ボート教室の参加者を高校生に的を絞ったので、参加者の年齢層が限定された。今後は、幅広い年齢を対象としてより多くの人にボートを通じて那珂川を知ってほしい。そしてその体験が、那珂川の環境の向上へとつながること期待する。また、目標とした千歳橋下の粗大ごみの撤去ができなかったのは残念だった。行政との連携がまだまだ不十分であり、アピールの仕方にも改善の余地がある。この点も強化すべきだ。

クリーン活動等は、市民がだれでもいつでもできることだ。そこに、那珂川と楽しく触れ合う機会がたくさんあれば、市民にとって那珂川はより親しめる場となるし、環境について改めて考えることとなるだろう。そのきっかけを作るのが、私たち漕艇部の役目だと今回のプロジェクトを通して感じた。私たちはボートを通して、今後も市民の方に那珂川の素晴らしさ・大切さを伝えていきたい。



那珂川クリーン活動



千波湖 MIZU まつり
(学生ボランティアサークル「re:mito」主催)
手作り段ボートレースの救護



那珂川周辺のゴミ拾い



ボートの試乗

那珂川ボート教室